

まちづくり提案募集結果

☆市民

平成22年3月31日現在

1	<p>○阿弥陀町のまちづくりに関する提案 阿弥陀小学校跡地問題は、まちづくりをするうえで重要な課題である。阿弥陀小学校跡地は百数十年以上歴史をもつ阿弥陀の文化の森であり、阿弥陀の「へそ」である。その跡地を、宅地販売するのではなく、歴史と文化の情報発信基地、交流基地とし、「阿弥陀の文化振興の歴史」の拠点とすべきである。</p>
2	<p>○高齢者が生きがいをもつまちづくり 11年後の高砂市においては、団塊の世代が70代を迎え、少子化が進み、高齢者が増える。 高齢者が生きがいをもち、豊かな希望に満ちた生活を送るため、ひきこもらず、少しでも多く外に出て生活を楽しみ、社会参加してほしい。 そのためには、交通手段の確保が必要になってくる。（買い物、食事、レジャーを愉しむために移動困難な高齢者に対して移動手段の確保が必要である。）</p>
3	<p>○高砂の文化と全国の文化との交流が必要である。 ○ぼっくりんを女性、子どもなどをターゲットにPRする。 ○高砂市は効率の良い市政でなければならない。市全体（市民・行政）の革新が大きく望まれる。</p>
4	<p>○子ども達が安全で安心して遊べる屋内施設の建設 真冬、真夏、雨の日などに小さな子ども達も遊びに行けるような児童館がほしい。 加古川市の海洋文化センターのように図書館と併設だともっと利用者も増えるのではないか。</p>
5	<p>○図書館の建設 村も町も国全体も目先の事に囚われず10年先、20年先を見据えて事を成してほしいと思う。そこで他所の市町村に在って、この市に無いもの、それは図書館ではないか。 「現在の高砂市の財政が逼迫しているから出来ない」とか「図書館を利用する人が果たしているかどうか」等と議論ばかりで今日まできた経緯が懸念される。 将来を担う子ども達のためと言うよりも、現在今ここで生活している市民のために図書館が必要ではないかと提言するものである。</p>